

科目名	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学論文指導	
科目責任者	堀 龍 介	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)
担当者	若 杉 哲 郎	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 准教授)
開講時期:	3～4年次	単位数: 6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>臨床的および実験的手法を用いて得られた結果を論文としてまとめ、頭頸部領域の諸器官(聴器、平衡器、鼻副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、耳下腺、唾液腺、顔面神経)の機能や病態を総合的に理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 聴器の構造と機能について論文としてまとめ、これを総合的に理解する。 2) 聴覚障害を起こす疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 3) 平衡器の構造と機能について論文としてまとめ、これを総合的に理解する。 4) 平衡障害を起こす疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 5) 鼻・副鼻腔の構造と機能について論文としてまとめ、これを総合的に理解する。 6) 鼻・副鼻腔疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 7) 口腔・咽頭の構造と機能について論文としてまとめ、これを総合的に理解する。 8) 口腔・咽頭疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 9) 喉頭の構造と機能について論文としてまとめ、これを総合的に理解する。 10) 喉頭疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 11) 唾液腺・甲状腺の構造と機能について論文としてまとめ、これを総合的に理解する。 12) 唾液腺・甲状腺疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 13) 頭頸部腫瘍について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 14) 顔面神経疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 		
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。	
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。	